

# (仮称) 那珂川市文化芸術推進計画 (素案)

令和5年10月  
那 珂 川 市



はじめに

那珂川市長

〇〇〇

## 目 次

第1章	計画の基本的な考え方	1
1	背景	1
2	目的	1
3	計画期間	2
4	「文化芸術」の範囲	2
5	計画の位置づけ	3
第2章	那珂川市の特徴	4
1	地理的特徴	4
2	施策的特徴	4
3	文化的特徴	6
第3章	計画の構成	8
1	基本理念	8
2	基本方針	8
3	方針・施策	9
第4章	施策の展開	10
1	「ひろげる」ために	10
	基本施策1 身近で気軽に文化芸術に触れる機会の充実	10
	基本施策2 誰もが文化芸術を楽しむ機会の創出	11
	基本施策3 子どもが文化芸術を楽しむ機会の拡充	11
2	「ささえる」ために	12
	基本施策1 文化芸術活動の担い手育成	12
	基本施策2 文化芸術活動環境の充実	12
3	「つなぐ」ために	13
	基本施策1 地域の魅力的な文化の発信	13
	基本施策2 文化団体等同士の交流・連携	13
	基本施策3 文化芸術以外の分野との連携	14
第5章	計画の推進	15
1	推進体制	15
2	推進スケジュール	16
3	進捗管理・評価	18
資料編		
1	各意識調査	19
2	ワークショップ	25
3	審議の経過	29
3	審議会委員	31

# 第1章 計画の基本的な考え方

文化芸術推進計画を策定する必要性を説明します。

## 1 背景

### ●本市の文化芸術施策の状況

本市のまちづくりの最上位計画である「那珂川市総合計画」において「文化協会に加盟する文化・芸術団体の活動を支援するとともに、文化・芸術イベントなど、多くの人々が文化・芸術を通じて交流できる機会の充実を図る」という方向性を示しています。また、文化芸術活動の拠点「ミリカローデン那珂川」のリニューアルにより、施設を活用した様々な活動が広がっていくことを目指しています。これまでも市内の芸術家による展覧会や、ミリカローデン那珂川で開催される市民文化祭など、本市を活動拠点としている文化団体や芸術家等によって文化に触れる機会が提供されてきました。

### ●国の動き

国は、平成 29（2017）年 6 月に「文化芸術振興基本法」を改正し、名称を「文化芸術基本法」（以下「法」と表記。）と改めるとともに、これまでの文化芸術政策を更に充実させつつ、観光やまちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等の分野と関連した施策を盛り込み、文化芸術により生み出される様々な価値を、文化芸術の継承や発展、創造に活用することとしました。

## 2 目的

本市においても市民生活をより豊かにするために、全ての市民が生涯を通して文化芸術に触れる機会を創出し、享受できる環境を充実させることが必要です。これまで以上に**本市の文化芸術**を推進していくためには、市民と一緒に文化芸術に触れる機会をつくっていく必要があります。そのため、**今回**本市におけるこれからの文化芸術施策の役割を明確化し、本市の特性を活かした文化芸術の推進を目指すため、「那珂川市文化芸術推進計画」を策定します。

### 3 計画期間

この計画の期間は、令和6（2024）年度から令和15（2033）年度までの10年間とします。ただし、中間年度である令和10年度（2028）を目安に必要な見直しを行います。

### 4 「文化芸術」の範囲

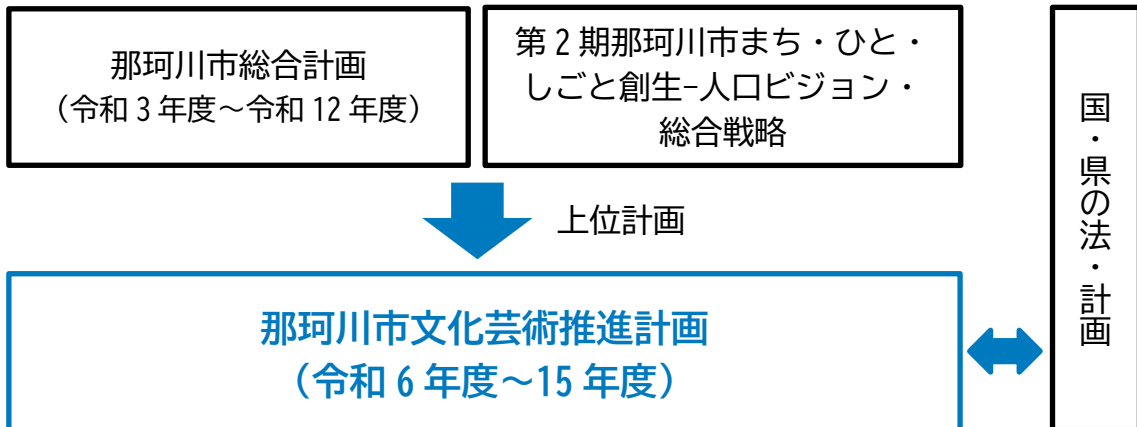
本計画における「文化芸術」の範囲は、法に例示された分野及び国が策定している文化芸術推進基本計画並びに福岡県文化芸術振興基本計画を踏まえて下表に示した分野を対象とします。

芸術	文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊等
メディア芸術	映画、漫画、アニメーション及びコンピュータその他の電子機器等を利用した芸術
伝統芸能	能楽、歌舞伎その他の我が国古来の伝統的な芸能
民俗芸能	神楽等地域の人々によって行われる民俗的な芸能
芸能	講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱その他の芸能（伝統芸能・民俗芸能を除く）
生活文化	茶道、華道、書道、食文化その他の生活に係る文化
国民娯楽	囲碁、将棋その他の国民的娯楽
出版物等	出版物、レコード等
伝統工芸	先人から受け継がれてきた陶芸、染織その他の伝統的な工芸
文化財等	有形及び無形の文化財※

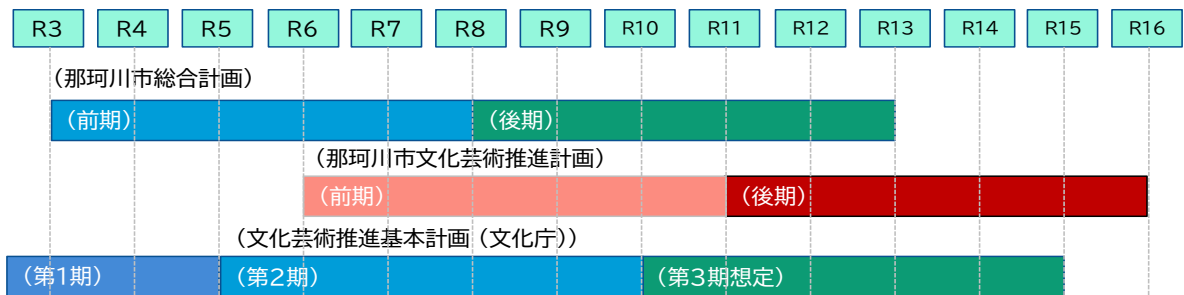
※文化財については、既に策定されている「那珂川町文化財保存整備基本計画」（平成15年1月）、「那珂川町文化財散策ルート整備基本計画」（平成19年2月）、「国史跡安德大塚古墳保存活用計画」（平成30年3月）、「国史跡安德台遺跡保存活用計画」（令和4年3月）等により活用に関する考え方が示されていることから、本計画では「文化財と他分野との連携」について取り扱うこととします。

## 5 計画の位置づけ

本市の総合計画及び総合戦略を上位計画として、また市内の各種計画と連携しながら、文化芸術推進計画を進めていきます。また、国や県の法・計画と整合性を図りながら、計画に取り組みます。



### ●計画期間



## 第2章 那珂川市の特徴

那珂川市がどのような地域か紹介します。

### 1 地理的特徴

#### ●水と緑の豊かな自然がある

せふりさん  
脊振山の麓から博多湾までを流れる 2 級河川「那珂川」が南北を貫いて流れており、市内には 2 つのダムがあります（南畑ダム・五ヶ山ダム）。

市域の約 7 割を山林が占めており、自然が豊かです。また、田畑が約 1 割を占めています。

市の花：筑紫シャクナゲ



市の木：ヤマモモ



市の鳥：カワセミ



#### ●福岡市に隣接するベッドタウン

福岡市中央区まで車で約 30 分の立地であり、近年は市北部を中心にベッドタウンとして発展してきました。市内には新幹線の車両基地があることから、在来線にも関わらず新幹線が停車するまちとしても知られており、博多南駅から博多駅まで約 8 分で移動できます。

### 2 施策的特徴

本市では、これまで各分野で多数の施策が実施されてきました。

#### ●子ども・子育て・教育にかかる施策

- ・子どもの権利条例
- ・ICT 教育
- ・香蘭女子短期大学との包括連携協定
- ・外国語教育（ALT4 人幼稚園・小中学校、スピーチコンテスト「カワセミ杯」、イングリッシュデイ）
- ・産前産後ヘルパー、産後ケア
- ・新生児の聴覚検査



### ●高齢者・障害福祉にかかる施策

- ・携帯型緊急通報装置貸与、認知症高齢者等徘徊 SOS ネットワーク

### ●まちづくりにかかる施策

- ・まちの活力アップ事業
- ・地域コミュニティ活性化移住・定住促進補助金
- ・移住交流促進センター「SUMITSUKE」
- ・結婚新生活支援補助金
- ・早良区との地域活性化連携協定
- ・道善・恵子地区の土地区画整理
- ・JR 西日本と博多南駅を中心とした地域活性化の包括連携協定を締結
- ・大川市との木材の活用や森林保全で協力する連携協定を締結

### ●観光にかかる施策

- ・南畑美術散歩
- ・五ヶ山クロス（キャンプ、ダム湖面でのアクティビティ）
- ・吉野ヶ里町との観光に関する包括連携協定締結

### ●スポーツ・社会教育にかかる施策

- ・アビスパ福岡とのフレンドリータウンに関する協定締結（スポーツ）

### ●環境にかかる施策

- ・ゼロカーボンシティ宣言（環境）
- ・さくらねこ無料不妊手術事業（環境）

### 3 文化的特徴

市民意識調査の結果を基に、那珂川市や居住地域で大切に思い自慢できる文化芸術について主なものを記載しています。

【市内全域・複数の地域にまたがるもの】

- |   |   |  |
|---|---|--|
| (場所・建物)   | (受け継がれてきたもの)  | (活動・イベント)  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・裂田溝（日本遺産構成文化財）</li> <li>・古墳・神社などの文化財</li> <li>・公民館</li> <li>・歴史、史跡</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・かしわごはん（まぜるタイプ）</li> <li>・古代の生活体験（まが玉づくり、草木染め）</li> <li>・どんと焼き</li> <li>・火焚きこもり</li> <li>・ほんげんぎょう</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹（竹の里フェスタ、バンブーオーケストラ等）</li> <li>・行政区・地域のパトロール・人権フェスタ</li> <li>・座・しゃくなげ・日向ひよっこ踊り</li> <li>・エコピアまつり・祭りなかがわ・地域猫</li> <li>・裂田溝ライトアップ・市民文化祭/文化協会</li> </ul> |



那珂川市 文化芸術推進計画市民ワークショップ

令和5(2023)年9月21日と26日の2日間、ミリカローデン那珂川で、那珂川市で文化芸術活動を行っている団体の方や文化芸術に関心のある市民を対象にワークショップを開催しました。

市内で文化芸術活動を行っている団体の方や個人で活動されている方、文化芸術活動を支援されている方など、2日間の合計で35名の方が参加されました。

ワークショップでは、それぞれの立場で「10年後文化芸術を通してどんなまちになったらいいか」をテーマに、那珂川市で文化芸術が目指すもの等について意見交換が行われました。

ワークショップのなかで、那珂川市の特徴として、「水と緑」「自然」が挙げられ、「文化芸術に触れる機会の充実やその機会を身近に」「子どもたちにたくさんの事を伝えたい、機会・可能性をたくさん与えたい」という施策に対する意見、文化芸術がもたらす効果として、癒しや思いやりといった「心」への影響をキーワードとして挙げられ、「文化芸術に関わったことで、自分の居場所ができた」などの貴重な意見をいただくことができました。

改めて、文化芸術に対して、熱意のある市民がたくさんいる事を感じ、キラキラした顔で未来や夢を語ってくれる姿がそこにはありました。



## 第3章 計画の構成

那珂川市が文化芸術で目指す基本理念や基本方針を説明します。

### 1 基本理念

#### 「那珂川」の文化が育むまちのにぎわい

#### ～文化芸術をみんなの心の居場所に～

本市の文化芸術は、那珂川が育んだ豊かな自然と、そこに集まった人たちによって生き活きと展開されています。市民アンケートや各種団体へのヒアリングなど、様々な形で市の文化芸術の現状を調査してきましたが、「文化芸術の良さを知ってほしい」「文化芸術を身近にしたい」「那珂川の良さ・すごさを子どもたちにも伝えたい」などの声が聞かれました。そこには、「自分が大切にしているものを知ってほしい」「機会が増えれば、才能を発揮できる人が増えるかも」などの理由がありました。

このような調査結果も十分に踏まえ、本計画では、文化芸術が一人でも多くの人の「心の居場所」となり、生き活きと文化芸術活動をする市民が増えることで市ににぎわいが生まれていくことを目指し、そのために必要な施策を推進していきます。

### 2 基本方針

基本理念の実現に向けて、次の3つの基本方針を掲げ、施策を推進していきます。

#### 基本方針1 ひろげる ～市民が文化芸術と触れる機会を広げる～

年齢、障がいの有無、経済的な状況や居住する地域などに関係なく、身近な場所で気軽に文化芸術を体験・鑑賞できる機会を提供し、文化芸術が持つ多様な価値を多くの市民に広げていきます。特に子どもたちには、色々な文化芸術に触れる機会を広げていきます。

#### 基本方針2 ささえる ～市民の主体的な文化芸術活動を支える～

市内で文化芸術活動をする人への支援や、今後市内で文化芸術活動をしたい人や文化芸術活動をサポートする人材の育成などを実施し、また、活動場所に

関する相談窓口を設置するなどし、市民の主体的な文化芸術活動を支えていきます。

### 基本方針3 つなぐ ～那珂川の文化を多様なヒト・モノ・コトとつなぐ～

本市の伝統的文化や民俗習慣のほか、新たに根付いた文化など、本市の文化の魅力を発信し、市内外の人と本市の文化をつなぎます。また、市内の文化芸術団体同士やそれ以外の分野の団体との交流・連携などを行い、文化芸術分野同士や文化芸術とそれ以外の分野をつなぎます。

## 3 方針・施策

基本理念・基本方針に基づき、施策・取り組みを実施していくための基本施策は下記のとおりです。

各課題を解消するため、基本施策に基づき、施策・取り組みを実施していきます。

### ● 「ひろげる」ために

---

- 身近で気軽に文化芸術に触れる機会の充実
- 誰もが文化芸術を楽しむ機会の創出
- 子どもたちが文化芸術に触れる機会の拡充

### ● 「ささえる」ために

---

- 文化芸術活動の担い手育成
- 文化芸術活動環境の充実

### ● 「つなぐ」ためのに

---

- 地域の魅力的な文化の発信
- 文化団体等同士の交流・連携
- 文化芸術以外の分野との連携

## 第4章 施策の展開

那珂川市の未来に向けて、現状と課題を踏まえ取り組むことを説明します。

### 1 「ひろげる」ために

#### 基本施策1 身近で気軽に文化芸術に触れる機会の充実

##### 【現状と課題】

市内の各公共施設では、それぞれの施設の特徴を活かした様々な文化芸術事業が実施されています。また、市民個人・文化団体等も、日ごろから創意工夫を凝らした文化芸術活動に取り組んでおり、市民文化祭などで多くの市民が展示・舞台発表を行っています。

一方で、市民アンケートでは「文化芸術に親しむ機会の拡充」を求める声が多くありました。そのため、市内各地で多彩な文化芸術に触れる機会があることを、多くの市民に発信していく必要があります。また、市内に拠点を構える多くの芸術家の活動を市民とつなげることは、市の文化芸術の魅力を高めることにもつながります。

また、交通手段や時間の問題などで、公共施設に行くこと自体が困難な人もいます。市内の様々な場所で文化芸術の体験・鑑賞の場を増やし、そのような人たちも気軽に文化芸術に触れる機会を生み出していく必要があります。

##### 【取り組みの例】 「○」既存事業の継続、更新／「★」新規事業案

- 市内各公共施設で実施される文化芸術事業の施設を超えた情報発信
- 市民文化祭や1日体験など、市民が気軽に参加できる市内各公共施設での文化芸術事業の工夫
- ★市民へ身近にあるアートの紹介（市内各公共施設等）
- ★市内の文化芸術団体等に関する情報の収集・発信
- ★中間支援組織と連携した福祉施設等でのアウトリーチ事業の実施（現状調査も含む）

## 基本施策2 誰もが文化芸術を楽しむ機会の創出

### 【現状と課題】

ミリカローデン那珂川では、障がいを持つ人の視点から施設利用にあたっての障壁を点検するワークショップを実施するなど、社会包摂の視点での取り組みを始めています。障がいを持つ人以外にも、高齢者や子どもなど、様々な視点での文化芸術の楽しみ方を探っていき、誰もが一緒に文化芸術を楽しめる環境をつくっていく必要があります。

### 【取り組みの例】「★」新規事業案

- ★高齢者施設、障がい者団体などの文化芸術活動に関する調査
- ★社会包摂の視点での文化芸術事業の実施

## 基本施策3 子どもたちが文化芸術を楽しむ機会の充実

### 【現状と課題】

市民アンケートや関係団体ヒアリング、ワークショップを通じて、「子どもたちが文化芸術に親しむ環境を充実させる必要があるのでは」という意見が数多く出てきました。子どもたちが置かれている個々の環境に左右されず、多様な文化芸術と触れ、楽しむことができる機会を創出していくことは、子どもたちの感性を豊かにするだけでなく、子どもたちの心の居場所を見つけることにもつながるかもしれません。

### 【取り組みの例】「○」既存事業の継続、更新／「★」新規事業案

- 公共施設での子ども向け文化芸術事業の実施
- 教育・保育施設での文化芸術事業の実施
- ★教育・保育機関におけるニーズ調査
- ★子どもたちと芸術家・文化芸術団体等をつなぐ仕組みづくり
- ★子どもたちと一緒に文化芸術事業を企画・運営する仕組みづくり

## 基本施策1 文化芸術活動の担い手育成

### 【現状と課題】

市内の文化団体等では、日々生き生きと文化芸術を楽しんで活動をされていますが、団体ヒアリングの中では、高齢化による担い手不足も課題として挙がっていました。

ミリカローデン那珂川では、ミリカを拠点とした文化芸術活動の担い手の育成やミリカ事業のボランティア登録などを行っています。そのような人たちがどんどん増やし、生き生きと活躍できる場をつくっていくことが必要です

### 【取り組みの例】「○」既存事業の継続、更新／「★」新規事業案

- 文化協会の活動支援、情報発信
- 文化芸術を通して市民と社会を繋げる企画者育成
- ボランティアの育成と活躍の場の確保
- ★文化芸術活動を実践している人・団体の紹介等に関する相談ができる場所の設置

## 基本施策2 文化芸術活動環境の充実

### 【現状と課題】

文化芸術活動をする上で、活動場所への移動手段が制限されたり、利用可能な施設が限られたりすると、活動が制約される可能性があります。市民の声からも、施設の不足や施設によっては、特定の時期に利用希望者が集中しているということのほか、どの施設をどのように利用できるのかが分からないなど、文化芸術活動を行う場所やその情報に関する課題が見えてきました。

### 【取り組みの例】「○」既存事業の継続、更新／「★」新規事業案

- 公共施設に関する情報の発信（施設利用方法や利用が多い時期などの情報発信など）
- ★公共施設以外の場での文化芸術活動ができる場所の情報発信
- ★施設利用について相談できる場所の設置



## 基本施策1 地域の魅力的な文化の発信

### 【現状と課題】

本市には、**歴史的**価値が高い史跡や伝統文化や民俗習慣などが数多くあり、その価値に魅了されたファンは市内・市外を問わず多くいます。また、昔からこの土地で育まれてきた文化以外にも、「まち活」などの活動をきっかけに、市民の元気な文化芸術活動が続々と生まれてきています。

一方で、ワークショップの中では、**市内**の史跡や伝統文化等について「初めて知った」という声も聞かれました。**自慢できるものを残し続けるためには、その継承や保存が必要ですが、継承・保存していくための手法を工夫していくことが今後の課題となってきます。**

### 【取り組みの例】 「○」既存事業の継続、更新／「★」新規事業案

- 小中学校における地域の文化体験事業の実施
- 歴史を感じられる体験活動の実施
- 本市の文化の魅力を発信するイベントの実施（竹の里フェスタ、裂田溝ライトアップなど）
- ★地域の文化に関する情報収集・発信（仕組み作りから）

## 基本施策2 文化団体等同士の交流・連携

### 【現状と課題】

市内には、個人で文化芸術活動をされている方や、団体やサークルに所属して活動されている方など、活動の在り方は様々です。団体へのヒアリングやワークショップの中では、それぞれの活動の課題も見えてきましたが、自分とは違う文化芸術活動をしている人の話を聞いての発見や刺激を受けた**など**、その後の自身の活動の活路が見えたような話をされる人もいました。

「文化芸術活動をする人同士の交流や連携を通して、個々の活動の課題解決や相互の発展につながるのでは」という意見もありました。

### 【取り組みの例】 「○」 既存事業の継続、更新／「★」 新規事業案

- 文化協会や加盟団体への支援
- 市民文化祭などの文化芸術イベントを通じた交流
- ★文化団体等の交流の場の設定

## 基本施策3 文化芸術以外の分野との連携

### 【現状と課題】

市内では、文化資源を観光やまちづくりなど、文化以外の分野と連携する取り組みが生まれています。例えば南畑地区では「南畑美術散歩」が実施されており、過疎化地域である南畑地域の活性化の手法として文化芸術が活用されています。また、ナカイチ（博多南駅前ビル）では、交通の発着と情報やカルチャーの発信拠点をテーマに、まちの活性化の拠点としての活動が行われています。

一方で、文化団体等へのヒアリングでも「他の文化団体との交流はない」といった声が挙がってきたことから、部署や団体等を超えての連携体制が整っていないことが課題となっています。

### 【取り組みの例】 「○」 既存事業の継続、更新／「★」 新規事業案

- 南畑美術散歩など地域課題解決のための事業への文化芸術の活用
- ★庁内定例会議（または個別定例ヒアリング・マッチング会議）
- ★**社会福祉協議会**、商工会等への文化芸術活動周知等意見交換の場の設定

## 第5章 計画の推進

本計画をいつまで、どのように推進していくかを説明します。

### 1 推進体制

#### ●推進体制について

文化芸術活動の主役は「市民」です。市は、市民の主体性・自主性を十分に尊重ながら、文化芸術を推進していきます。また、施策の推進にあたっては、市民、文化芸術団体、芸術家、教育機関や福祉施設その他文化芸術以外の分野の機関も含めて対話・連携・協力しながら推進していきます。

#### ●進捗管理

施策の進捗状況は、那珂川市文化芸術推進審議会設置条例第3条に基づき設置された那珂川市文化芸術推進審議会に報告し、検証を行います。

#### ●「ミリカローデン那珂川」という文化芸術の拠点に求められる役割

- ・ミリカローデン那珂川は、本市の文化芸術の拠点である。市民ニーズとのずれの解消のほか、より市民の身近な施設（第三の居場所）となるべく、令和3（2021）年度から令和6（2025）年度までリニューアル工事を行っています。
- ・建物の活用だけでなく、運営内容においても、本市の文化行政の具体的方向性を示していく必要があります。
- ・本計画の推進にあたり、下記のような視点での運営を目指すことで、市内外に「那珂川市の文化芸術」の方向性を示すことに寄与できるのではと考えます。

- ◇文化芸術事業だけでなく、生涯学習事業、図書事業を行う施設。それぞれの事業の融合により、更なる文化芸術の可能性を追求する。
- ◇文化芸術を通じて、市民が仲間を見つけ、色々なアイデアを出し合い、ミリカローデン那珂川の中だけでなく地域に出て活動するなど、出会いと活動の連鎖により、まちのワクワク感を生み出す仕組みをつくる。
- ◇リニューアルにより、今まではミリカローデン那珂川に縁遠かった10代の若者たちが集まってきている。彼らの自由なアイデアを施設運営にも活用していく。

## 2 推進スケジュール

基本方針1	ひろげる～市民が文化芸術と触れる機会を広げる～	実施スケジュール		
		2024年 開始	2028年 中間	2033年 終了
	施策			
	○市内各公共施設で実施される文化芸術事業の施設を超えた情報発信	実施	見直し後、実施・廃止	
	○市民文化祭や1日体験など、市民が気軽に参加できる市内各公共施設での文化芸術事業の工夫	実施	見直し後、実施・廃止	
	★身近にあるアートの紹介（市内各公共施設等）	実施	見直し後、実施・廃止	
	★市内の文化芸術団体等に関する情報の収集・発信	調査・調整	実施	
	★中間支援組織と連携した福祉施設等でのアウトリーチ事業の実施（現状調査も含む）	調査・調整	実施	
	★高齢者施設、障がい者団体などの文化芸術活動に関する調査	調査・調整	実施	
	★社会包摂の視点での文化芸術事業の実施	調査・調整	実施	
	○公共施設での子ども向け文化芸術体験の実施	実施	見直し後、実施・廃止	
	○教育・保育施設での文化芸術事業の実施	実施	見直し後、実施・廃止	
	★教育・保育機関におけるニーズ調査	調査・調整	実施	
	★子どもたちと芸術家・文化芸術団体等をつなぐ仕組みづくり	調査・調整	実施	
	★子どもたちと一緒に文化芸術事業を企画・運営する仕組みづくり	調査・調整	実施	

基本方針2		ささえる～市民の主体的な文化芸術活動を支える～		
施 策		2024年 開始	2028年 中間	2033年 終了
○文化協会の活動支援、情報発信		実施	見直し後、 実施・廃止	
○文化芸術を通して市民と社会を繋げる企画者育成		実施	見直し後、 実施・廃止	
○ボランティアの育成と活躍の場の確保		実施	見直し後、 実施・廃止	
★文化芸術活動をしている人・団体の紹介等に関する相談ができる場所の設置		調査・調整	実施	
○公共施設に関する情報の発信（施設利用方法や利用が多い時期などの情報発信など）		実施	見直し後、 実施・廃止	
★公共施設以外の場での文化芸術活動ができる場所の情報発信		調査・調整	実施	
★施設利用について相談できる場所の設置		調査・調整	実施	

基本方針3		つなぐ～那珂川の文化を多様なヒト・モノ・コトとつなぐ～		
施 策		2024年 開始	2028年 中間	2033年 終了
○小中学校における地域の文化体験事業の実施		実施	見直し後、 実施・廃止	
○歴史を感じられる体験活動の実施		実施	見直し後、 実施・廃止	
○本市の文化の魅力を発信するイベントの実施（竹の里フェスタ、裂田溝ライトアップなど）		実施	見直し後、 実施・廃止	
★地域の文化に関する情報収集・発信（仕組み作りから）		調査・調整	実施	
○文化協会や加盟団体への支援		実施	見直し後、 実施・廃止	
○市民文化祭などの文化芸術イベントを通じた交流		実施	見直し後、 実施・廃止	

★文化団体等の交流の場の設定	調査・調整	実施
○南畑美術散歩など地域課題解決のための事業への文化芸術の活用	実施	見直し後、実施・廃止
★庁内定例会議（または個別定例ヒアリング・マッチング会議）	調査・調整	実施
★社協、商工会等への文化芸術活動周知等意見交換の場の設定	調査結・調整	実施

### 3 進捗管理・評価

#### ●進捗管理・評価について

この計画で定めた施策等が効果的に実施され、那珂川市が文化芸術で目指す基本理念や基本方針の実現に向けて着実に進んでいくためには、その進捗管理を適正に行う必要があります。よって、下記に定める数値による進捗管理はもちろんのこと、これに留まらず、計画策定後に、文化芸術推進審議会において施策の進捗管理・評価を行うとともに、調査結果を広く市民に公表するものとしします。

#### ●目標指標

目標指標	基準値 2022年	中間目標 2028年
市民文化祭参加者数	3,840人	人
住民意識調査アンケート 文化・芸術活動の充実 満足度	3.05%	%
ミリカローデン那珂川利用者	109,820人	人

※アウトプットだけでなくアウトカムの指標も入れる様にしたい  
目標指標については、暫定のものを入力している

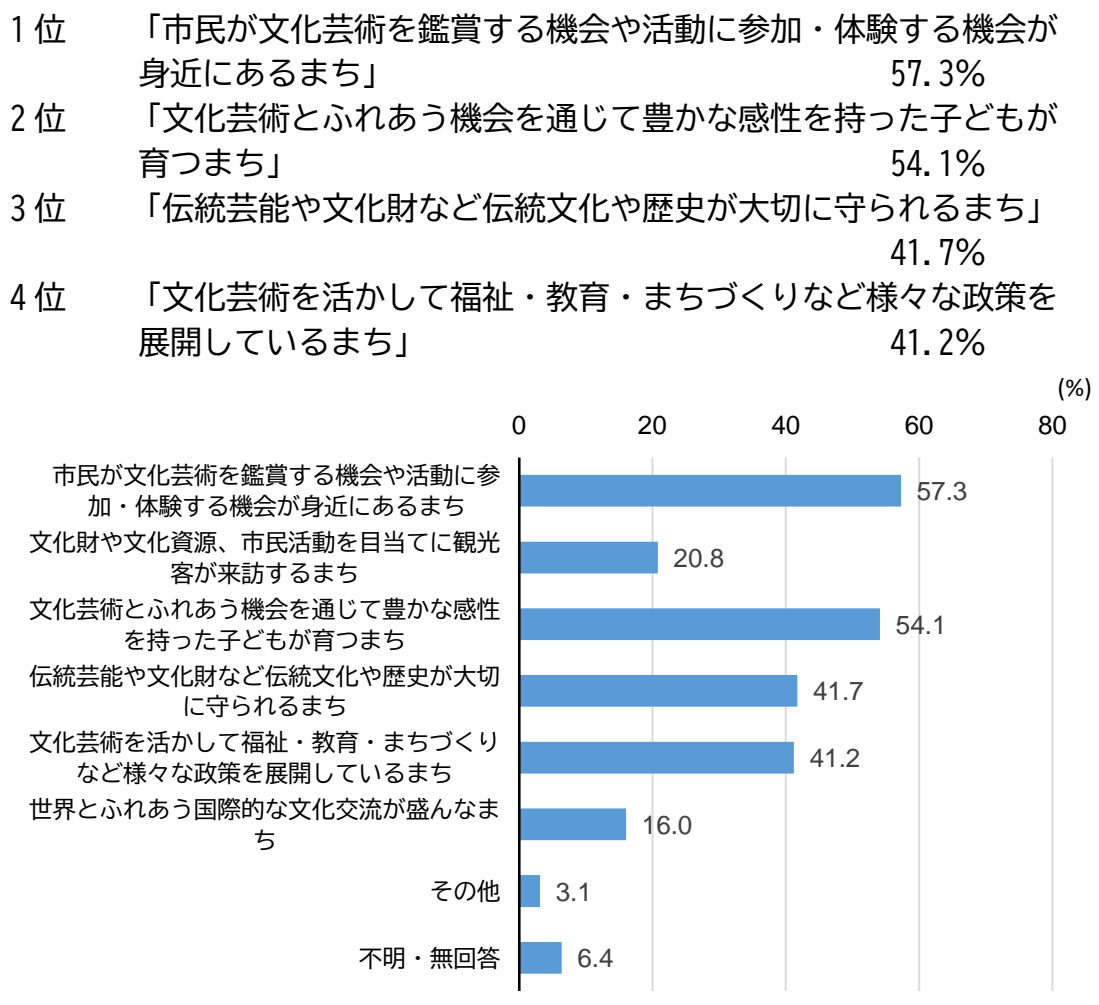
## 資料編

本計画の参考資料を掲載します。

1

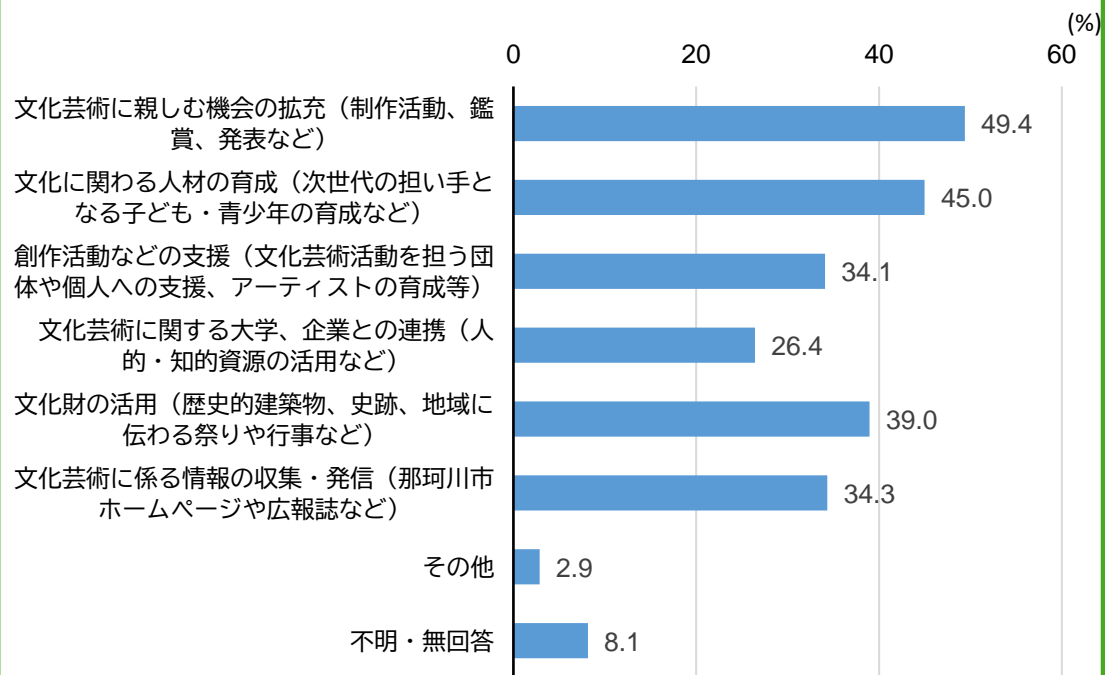
### 各種意識調査

#### Q 文化芸術施策の推進でどのようなまちになるとよいか



Q 最も力を入れるべき文化芸術の振興施策について

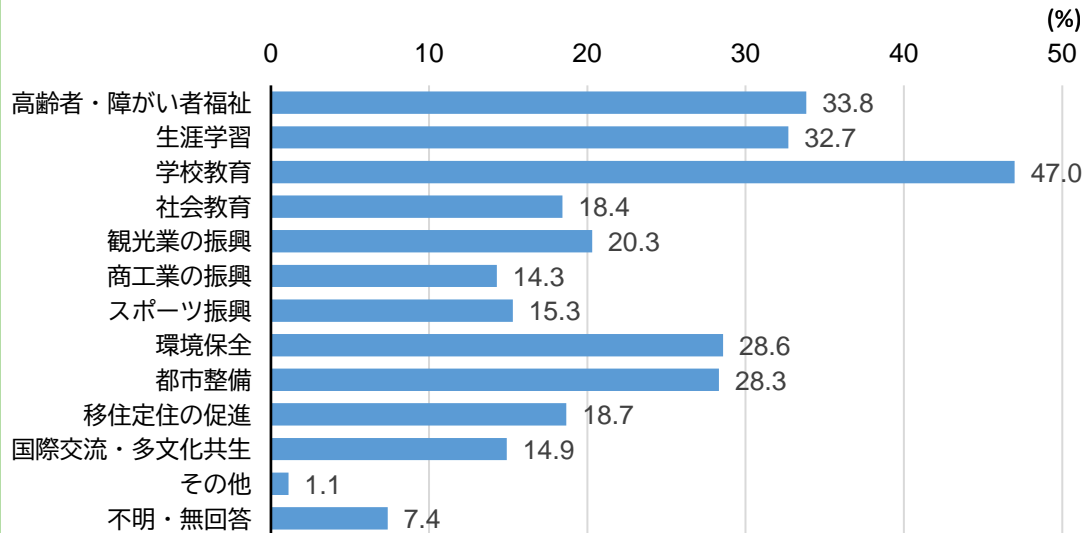
- 1位 「文化芸術に親しむ機会の拡充（制作活動、鑑賞、発表など）」 49.4%
- 2位 「文化に関わる人材の育成（次世代の担い手となる子ども・青少年の育成など）」 45.0%
- 3位 「文化財の活用（歴史的建築物、史跡、地域に伝わる祭りや行事など）」 39.0%
- 4位 「文化芸術に係る情報の収集・発信（那珂川市ホームページや広報誌など）」 34.3%





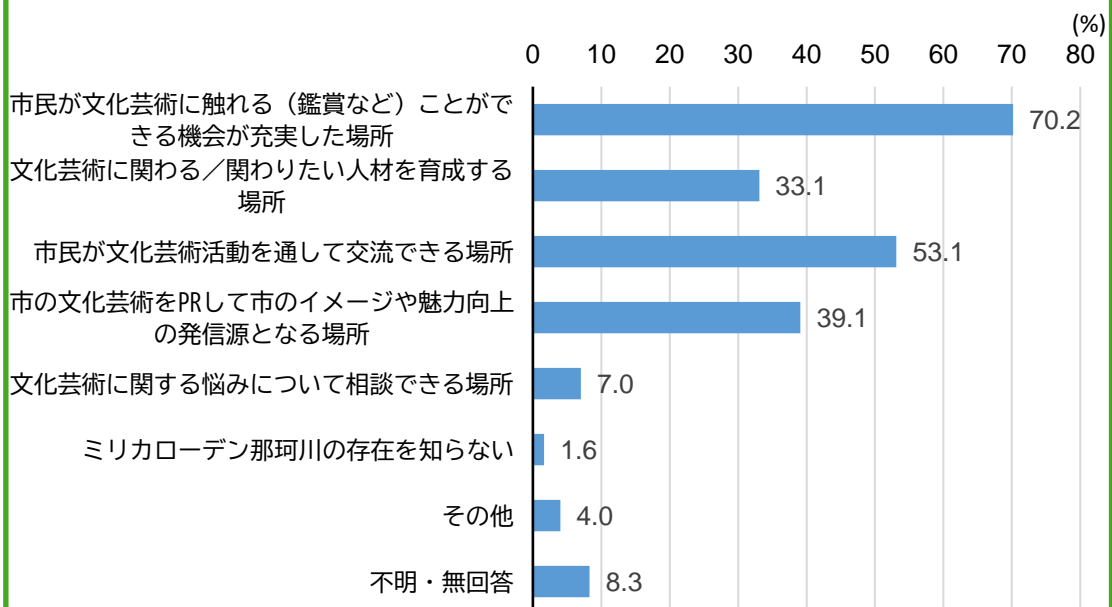
### Q 文化芸術との結び付きが強くなるとよい分野について

1位	学校教育	47.0%
2位	高齢者・障がい者福祉	33.8%
3位	生涯学習	32.7%
4位	環境保全	28.6%



### Q ミリカローデン那珂川に期待することについて

1位	市民が文化芸術に触れる（鑑賞など）ことができる機会が充実した場所	70.2%
2位	市民が文化芸術活動を通して交流できる場所	53.1%
3位	市の文化芸術をPRして市のイメージや魅力向上の発信源となる場所	39.1%
4位	文化芸術に関わる／関わりたい人材を育成する場所	33.1%



## (基本理念)

### ○各種アンケート

- ・「Q文化芸術施策の推進でどのようなまちになるとよいか」では、「市民が文化芸術を鑑賞する機会や活動に参加・体験する機会が身近にあるまち」が57.3%で最も多くなっています。
- ・「Q最も力を入れるべき文化芸術の振興施策について」では、「文化芸術に親しむ機会の拡充（制作活動、鑑賞、発表など）」が49.4%で最も多くなっています。
- ・「Q文化芸術との結び付きが強くなるとよい分野」について、「学校教育」が47.0%で最も多くなっています。

### ○団体ヒアリング

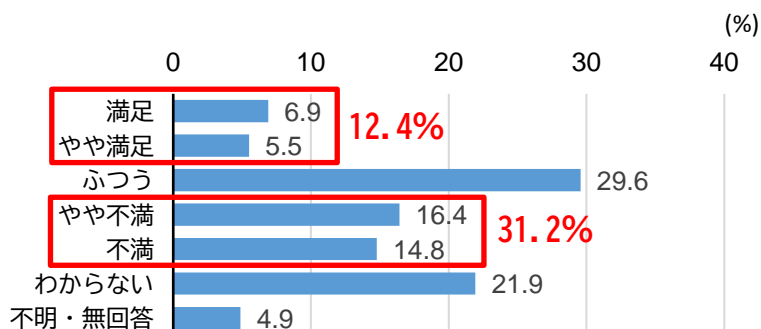
- ・「みんなで集まって、おしゃべりするだけでも楽しい」という意見が出ています。

### ◇「ひろげる」ために

#### (基本施策1 身近で気軽に文化芸術に触れる機会の充実)

### ○各種アンケート

- ・「Q文化芸術施策の推進でどのようなまちになるとよいか」では、「市民が文化芸術を鑑賞する機会や活動に参加・体験する機会が身近にあるまち」が57.3%で最も多くなっています（再掲）。
- ・「Q文化芸術の実践を行う文化施設への交通利便性について」では、「やや不満」と「不満」を合わせた合計が31.2%で、「満足」と「やや満足」を合わせた合計（12.4%）より多くなっています。



- ・「Q文化芸術を直接鑑賞する文化施設への交通利便性について」では、「やや不満」と「不満」を合わせた合計が32.2%で、「満足」と「やや満足」を合わせた合計（10.5%）より多くなっています。

### (基本施策3 子どもたちが文化芸術を楽しむ機会の充実)

#### ○各種アンケート

- ・「Q文化芸術施策の推進でどのようなまちになるとよいか」では、「文化芸術とふれあう機会を通じて豊かな感性を持った子どもが育つまち」が54.1%で2番目に多くなっています。
- ・「Q最も力を入れるべき文化芸術の振興施策について」では、「文化に関わる人材の育成（次世代の担い手となる子ども・青少年の育成など）」が45.0%で2番目に多くなっています。
- ・「Q文化芸術との結び付きが強くなるとよい分野」について、「学校教育」が47.0%で最も多くなっています（再掲）。

#### ◇「ささえる」ために

##### (基本施策1 文化芸術活動の担い手育成)

#### ○各種アンケート

- ・「Q最も力を入れるべき文化芸術の振興施策について」では、「創作活動などの支援（文化芸術活動を担う団体や個人への支援、アーティストの育成等）」が34.1%で5番目に多くなっています。

### (基本施策2 文化芸術活動場所へのアクセスの充実)

#### ○各種アンケート

- ・「Q文化芸術の実践を行う文化施設への交通利便性について」では、「やや不満」と「不満」を合わせた合計が31.2%で、「満足」と「やや満足」を合わせた合計(12.4%)より多くなっています（再掲）。
- ・「Q文化芸術を直接鑑賞する文化施設への交通利便性について」では、「やや不満」と「不満」を合わせた合計が32.2%で、「満足」と「やや満足」を合わせた合計(10.5%)より多くなっています（再掲）。

#### ◇「つなぐ」ために

##### (基本施策1 地域の魅力的な文化の発信)

#### ○各種アンケート

- ・「Q文化芸術施策の推進でどのようなまちになるとよいか」では、「伝統芸能や文化財など伝統文化や歴史が大切に守られるまち」が41.7%で3番目に多くなっています。
- ・「Q那珂川市や居住地域で大切に思い自慢できる文化芸術について」では、「岩戸神楽や現人神社、安徳台遺跡や裂田溝など、市内の文化財や歴史文化が多く挙げられています。また、豊かな自然環境や、ミリカローデン那珂川も挙げられています。」

### (基本施策3 文化芸術以外の分野との連携)

#### ○各種アンケート

- ・「Q文化芸術施策の推進でどのようなまちになるとよいか」では、「文化芸術を活かして福祉・教育・まちづくりなど様々な政策を展開しているまち」が41.2%で4番目に多くなっています。
- ・「Qミリカローデン那珂川に期待することについて」では、「リニューアル工事を通じて、市内外から、たくさんの人が来館し、賑わいのある場になって欲しい」との声があります。

なお、市の文化拠点ミリカローデン那珂川であり、現在、リニューアル工事を行っており、エントランスホールには、今まで滞在していなかった若年層が滞在するなど、幅広い世代が集まるより魅力ある施設に変わっています。

## 2

## ワークショップ

「10年後文化芸術を通してどんなまちになったら良いか」をテーマに、9月下旬に全2回、ワークショップを開催し、延べ35名が参加しました。

### (基本理念)

文化芸術を通じて、どのようなありたい姿を求めるか、ワークショップを通じて下記5つの要素が挙げられました。

#### ●豊かな自然や歴史がある

本市には南北を那珂川が貫くとともに、市面積の約7割を森林が占めており、水や緑などの豊かな自然が身近にあります。また、数多くの文化財や民俗文化が継承されています。豊かな自然や歴史のある環境が、本市の文化芸術を育んでいます。

#### ●ベッドタウンであり、文化を愛する市民がいる

本市は福岡市に隣接するベッドタウンであり、平成30年に人口が5万人を超え、市制に移行しています。本市で生活する市民の中には、文化芸術活動に積極的に取り組む市民も多く、市内のさまざまな公共施設で活動しています。

#### ●那珂川ならではの文化を「シビックプライド」として育む

多様な文化芸術活動に取り組む市民が多い一方、本市には岩戸神楽や安徳台、安徳大塚古墳、裂田溝などの文化財や民俗文化が多く、各家庭や地域には「かしわごはん」が受け継がれています。「これが那珂川」と誇れる文化を持つことで、市民のシビックプライドが育まれます。

#### ●「つながる」ことが大切だと感じている

ワークショップでは、「つながる」ことをキーワードとして挙げる参加者が多数いました。人と人、文化団体と文化団体がつながるだけでなく、地域と地域がつながる、子どもと大人や高齢者がつながる、過去と未来がつながるなど、多様なつながりがあることを大事にしたいと考えています。

#### ●ミリカローデン那珂川は文化拠点から地域拠点へ変化している

市内の公共施設の中でも、ミリカローデン那珂川は本市の文化拠点として愛されています。老朽化に伴うリニューアルを実施することで、エントランスに「居場所」ができ、文化芸術活動を実施しない市民であっても、エントランス空間で勉強やおしゃべりをするなど、市民にとって「第三の居場所」となっています。また、ミリカルリーダー育成講座やミリカ部活の取り組みが始まる

等、ミリカローデン那珂川が文化拠点から地域拠点へと変化しており、市民の期待の声も大きいです。

**(キャッチフレーズの候補案)**

- 自然・歴史・仲間つなぐなかがわ
- 緑豊かでみんなで(=つながり)子どもがのびのび育つ文化(歴史)の香り  
ただようまち
- 歴史を継承し自然と共に育む心豊かなふるさと那珂川
- 歴史と人で文化を紡ぐまち那珂川
- 続き広がり結ぶ楽しむなかがわ
- 水とみどり文化豊かななかがわ
- 人と歴史の連鎖が受けとめるまちなかがわ
- 受け止めて未来へつづく文化のまち
- 水と歴史ながれる未来へひろがる豊かなまち
- 推しまち
- 豊かな自然が育む子どもの笑顔と文化の心

◇「ひろげる」ために

**(基本施策1 身近で気軽に文化芸術に触れる機会の充実)**

●**気軽に使える場所の提供**

音楽等の個人・団体の練習等で使える場所について、安い利用料金で使えるような工夫や、公民館や体育館を開放してもらう日を作って欲しい。

●**文化芸術に触れるきっかけづくり**

各公共施設や文化事業の会場で作品や展示物の解説をするなどして、市民が文化芸術に関心を持ちたくなる仕組みがあると良い。

●**気軽に参加できるイベントの実施**

夜間でも参加できるイベントの開催や、気軽に参加できる単発のワークショップがあると良い。

**(基本施策2 誰もが文化芸術を楽しむ機会の創出)**

●**年齢等の条件に関係なく始められる**

10年経過すると、年齢も上がり、なかなか身体も動かなくなってくる中、年齢や様々な条件に関係なく、文化芸術活動を始められると良い。

人のしがらみがなく、活動を始められると良いし、逆に辞めても良い。

●**老若男女の垣根を超える**

文化芸術を通じて、老若男女の垣根がなくなっていると良い。

文化芸術を通じて、多様な価値観を持った人と出会い、そのような人がいることを理解したい。

文化芸術を通じて、人とのつながりが出来、豊かに助け合える関係が出来ると良い。

### （基本施策3 子どもたちが文化芸術を楽しむ機会の充実）

#### ●子どもたちが那珂川市の文化芸術に触れる機会をつくる

幼稚園、保育園、小学校、中学校等へ、気軽に誰でも文化芸術（歴史・音楽・食事）を伝えに行けるようにしたい。

文化部活動が地域移行するのに伴い、誰でも講師になれると良い。また、ドテラを復活し、若者も講師になると良い。小学校や中学校に神楽クラブがあっても良い。

授業の中で子どもたちが自分たちの市の文化芸術を調べ、説明できるようにしたい。

#### ●文化活動への子どもの参加

合唱部が学校にない場合に、ミリカローデン那珂川の少年少女合唱団で練習するなど、大人の文化活動に子どもも参加できるようになると良い。

#### ●子どもの居場所づくり

ミリカローデン那珂川に子どもたちの居場所が出来ると良い。

### ◇「ささえる」ために

#### （基本施策1 文化団体等の活動の発信）

#### ●さまざまな場所で発表の機会がある

交流会を開催し、自分のサークル活動を他のサークルの方に披露できるようにしたい。また、小学生向けにワークショップを開催する等、多様な人々に参加してもらう機会をつくりたい（竹細工・竹楽器・陶芸等）。

文化芸術団体が学校の授業の一環で発表出来る時間を作れると良い。

#### （基本施策2 文化芸術活動施設の充実）

#### ワークショップで出たアイデア

#### ●交通アクセスの改善

10年先を目指し、バス路線の拡充や、予約制ミニバスの検討などを進めて欲しい。

#### ●活動支援の仕組みづくり

文化活動等を支援する仕組みを作って欲しい（研修など）。専門的な支援を依頼できる人材バンクや人材紹介サービスがあると良い。困りごとを相談したい。

### ●ミリカローデン那珂川以外の施設や場所の活用・連携

移動図書館の仕組みの維持や、歴史的な史跡を使った公演の実施等、ミリカローデン那珂川以外の場所との連携があると良い。

#### (基本施策3 文化芸術活動の担い手育成)

### ●つなぐ人や団体の育成

個人や団体をつなぐ人や組織があると良い。また、文化団体と子どもたち(保育園や学校)との橋渡しをしてほしい。

#### ◇「つむぐ」ために

#### (基本施策1 地域の魅力的な文化の発信)

##### ワークショップで出たアイデア

### ●つなぐ人や団体の育成

那珂川市の文化財をきちんと知らない市民も多いため、ちゃんと学ぶことができる講座やツアーがあったり、文化財等に解説を用意されていると良い。

子どもの頃から、学校等で文化財や歴史文化を学べると良い。

### ●「かしわご飯」を生かした特産品の開発

那珂川市の食文化として、「かしわご飯」がある。かしわご飯は全国にあるが、那珂川市は「炊き込まない」のが特徴であり、「混ぜご飯」として特産品化しても良い。

給食でかしわご飯が出ると良い。

かしわご飯グランプリ(K-1)など、食文化を生かした発信が出来ると良い。

### ●多様な情報発信の実施

市民と市が連携した SNS の活用を模索できると良い(発信者は市民だが、アカウントは市所有にするなど)。

史跡紹介アプリを開発できると良い。

ローカルのテレビ局とタイアップし、情報発信を強化する。



# 3

## 審議の経過

### ●審議会の経過

回	日程	主な議題
第1回	令和4年8月24日	第1回那珂川市文化芸術推進審議会 ○委嘱状交付、委員・事務局自己紹介 会長・副会長の選出 ○審議会及び計画策定の趣旨説明 ・審議会について ・目的、計画期間、位置付け、文化の範囲など ・策定スケジュール ○議題「各種調査の進め方・内容について」 ・文化芸術を取り巻く国・県の動向 ・市民意識調査について ・関係団体ヒアリングについて ・ワークショップについて ○話題提供
第2回	令和4年11月9日	第2回那珂川市文化芸術推進審議会 ○話題提供 ○各種調査について ・意識調査について ・市民（18歳以上）向け ・子ども向け ・ミリカローデン那珂川来館者向け ○関係団体ヒアリングについて ○ワークショップについて ○今後の進め方 ・策定スケジュール
第3回	令和5年2月9日	第3回那珂川市文化芸術推進審議会 ○調査報告 ・市民アンケート調査報告 ・関係団体ヒアリング調査報告（資料3） ○那珂川市の文化芸術振興の現状と課題 ○その他 ・子どもアンケート調査について ・今後の進め方
第4回	令和5年3月29日	第4回那珂川市文化芸術推進審議会 ○調査報告 ・子どもアンケート調査報告 ・ミリカローデン利用者アンケート調査報告 ○那珂川市の文化芸術振興の現状と課題 ○その他 ・ワークショップについて ・今後の進め方
第5回	令和5年6月29日	第5回那珂川市文化芸術推進審議会 ○調査報告 ・ミリカローデン来館者アンケート調査報告

第5回	令和5年6月29日	(クロス集計結果) ○ワークショップについて ○那珂川市文化芸術推進計画(素案)の検討 ・課題の再検討 ・基本理念・基本方針の検討 ・施策・事業の検討 ○その他 ・今後の進め方
第6回	令和5年8月24日	第6回那珂川市文化芸術推進審議会 ○調査報告 ・ワークショップについて ○那珂川市文化芸術推進計画(素案)の検討 ・全体構成について ・課題について ・基本理念・基本方針・推進体制について ・主な施策・事業について ・重点施策について ○その他 ・今後の進め方
第7回	令和5年10月12日	
第8回	令和5年12月26日	

### ●各種調査結果

内容	実施時期
市民意識調査(一般)	令和4年12月22日～令和5年1月11日 配布3,000件、回収798件、回答率26.6%
市民意識調査(子ども)	令和5年2月13日～令和5年2月24日 配布1,241件、回収951件、回答率83.3%
市民意識調査 (ミリカローデン那珂川来館者)	令和5年2月24日～令和5年3月23日 回収257件
文化団体意識調査	令和5年1月～令和5年2月 ・文化芸術団体 ・中間支援団体 ・文化芸術に直接関わりがない団体 合計18団体
市民ワークショップ	第1回: 令和5年9月21日 20名参加 第2回: 令和5年9月26日 15名参加
パブリックコメント	令和6年1月●●日～●●日(予定)

## 4

## 審議会委員

氏名	役職・所属団体名等	区分
須川 渡 (会長)	福岡女学院大学 人文学部 准教授	1号委員 (学識経験者)
田北 雅裕 (副会長)	九州大学大学院 人間環境学研究院 教育学部門 専任講師	
長津 結一郎	九州大学大学院 芸術工学研究院 未来共生デザイン部門 准教授	
簗原 亜佐美	ミリカローデン那珂川 館長	2号委員 (関係団体等推薦)
柴田 秀子	那珂川市文化協会 事務局長	
森 千春	NPO 法人 絆・なかがわ 代表理事	
鳥部 泰斗	安徳北小学校 教諭	
関岡 絵梨花		3号委員 (公募)